

目次

はじめに	1
その1. コンプライアンスとは、職業倫理とは？	2
1 コンプライアンス=法令遵守？	2
2 「コンプライアンス=法令等遵守」のなぜ？	4
3 コンプライアンス=高い職業倫理である	6
4 職業倫理	8
5 うれしく・楽しく	9
6 やらないと？	10
その2. 金融マン・金融ウーマンに求められる「コンプライアンス」「職業倫理」	12
1 金融機関と一般企業の違い	12
2 金融マン・金融ウーマンの「コンプライアンス」「職業倫理」	14
その3. 金融マン・金融ウーマンとしての行動規範（業務ルールについて）	18
1 ルールとは何か	18
2 ルールの必要性	19
3 ルールを守ることの重要性	20
その4. 特に注意すべきコンプライアンス違反	22
その5. 金融マン・金融ウーマンになるために	26



はじめに

金融機関の役割や仕事等について、皆さんは就職活動等を通じて勉強してきたことと思います。しかし、実際の金融機関の仕事と皆さんが考える金融機関の仕事の間には、大きなギャップがあります。その一つが「ルールを守る」ということです。

「“ルールを守る”なんて簡単さ。これまでの人生もルールを守ってきたし、法律だって守ってきた。今までと何も変わらないよ」と思っていないですか？

本ハンドブックは、これから金融機関で働こうとしている方、あるいは働き始めて間もない方に、金融機関のコンプライアンス（法令等遵守）の“初歩の初歩”を理解していただくために作成したものです。

皆さんご承知のように、金融機関はモノを作っているわけではありません。金融機関は「お金」を扱っています。

「自分の命の次に大事なものはお金」という人も少なくありませんので、大事なお金を守っていくために、「お金」を扱う金融機関には、色々な面で法律などの数多くのルールが存在するのです。

皆さんには、本ハンドブックを参考に、そもそもルールとは何であり、ルールはなぜ必要で守らなければならないのか、金融機関に勤務する金融マン・金融ウーマンとして絶対に知っておくべきルールは何か といった点について、認識を深めてください。

コンプライアンスとは、 職業倫理とは？

金融MAN
1

コンプライアンス=法令遵守？

皆さんは「コンプライアンス」という言葉を聞いたことがあると思います。なにか悪いニュースが新聞やインターネットで取りあげられると、よく耳にする言葉です。例えば、ある会社が悪いことを起こしたら、よく「今後はコンプライアンスを改めて徹底し、二度とこうした事件を起こさないようにいたします」といったコメントが発表されます。

では、「コンプライアンス」とはどういう意味でしょうか。

コンプライアンスは、よく「法令遵守」と言われます。「法令」とは「法律と命令。また、条例や規則など」のことであり、「遵守」とは「法律や道徳・習慣を守り、従うこと」と言われています。つまり、「コンプライアンス=法令遵守」と捉えれば、「法令を守ること（法令だけ守ればよいということ）」とすることができます。

しかし、金融機関では、一般的に「コンプライアンス」とは「法令等遵守」と言われます。違いは「等」があるかないかだけです。

この「等」があるかないかの違いは、実はとても重要なことなのです。



POINT ポイント!

金融機関の場合には、「コンプライアンス=法令遵守」ではなく、「コンプライアンス=法令等遵守」です。

金融マン・金融ウーマンとしての 行動規範（業務ルールについて）

これまで、「コンプライアンス」と「職業倫理」の重要性について述べてきました。しかし、実際の実務や事務は「コンプライアンス」や「職業倫理」だけでは、行うことができません。

金融機関で実務を行うために、いろいろな「ルール」があります。ここでは「ルール」の必要性や「なぜルールが必要か、どうしてルールを守らなくてはいけないのか」について述べてみたいと思います。

1 金融MAN

ルールとは何か

金融機関の中では、事務手続きをはじめ数多くの手続き（ルール）があります。文書化されているものもあれば、文書化されていないものもあります。

では、ルールはどうして作られるのでしょうか？

一つには、皆さんの先輩方が過去に大きな失敗をした反省として、あるいは嫌な思いをしたことを後輩である皆さんにはさせまいとして「こうすれば失敗しないよ。嫌な思いもしないよ」といった意味で、ルールが決められている場合があります。また、法令等に基づいてルールを策定している場合もあります。あるいは、仕事・業務の効率化といった観点もあるでしょう。

POINT ポイント!

ルールは、①過去の失敗への反省、②法令等で求められている、③仕事・業務の効率化といった観点から、策定されているものです。

2 金融WOMAN

ルールの必要性

では、ルールはなぜ必要なのでしょう？

それは、ルールを作ることによって、一見難しそうなことも、簡単に・誰にでも判断できるようになるからなのです。

そこには、「一番よい状態を判断して実践する方法を選択するための先人の知恵」があるのです。つまり、ルールは、社会にとっても金融機関にとってもプラスになるように、また、過去において失敗や事件となったことを踏まえて、そうした失敗を二度と起こさないために、皆さんが悲しい思いをしないように、皆さんの先輩が作った知恵であり、方策でもあるのです。



POINT ポイント!

ルールは、先人の知恵であり、失敗しないための方策でもあるのです。